

日本農学アカデミー第12回総会 総会資料

第12回総会は平成21年7月24日（金）東京大学農学部3号館大会議室において開催された。出席者は32名、委任状提出者は126名（会員数239名）で総会は成立した。

第1号議案 平成20年度事業報告（案）について

1 会員数の状況

2 第10回シンポジウムの開催

(1) 日 時 平成20年11月15日（土） 13:30～16:00

(2) 場 所 東京大学農学部弥生講堂

(3) タイトル 農林水産業の新展開：政府に対する緊急提言

(4) 共 催 (財)農学会・(財)森とむらの会

(5) 内 容

挨拶 三輪 睿太郎 日本農学アカデミー副会長

基調講演 古橋 源六郎 (財)森とむらの会会長

総合討論

司 会：林 良博 日本農学アカデミー学術情報委員長

コメンテーター

中嶋 康博（東京大学大学院農学生命科学研究科）

會田 勝美（日本農学アカデミー副会長）

太田 猛彦（日本農学アカデミー理事）

梶浦 一郎（日本農学アカデミー理事）

山野井昭雄（日本農学アカデミー理事）

3 ミニシンポジウムの開催

(1) 日 時 平成20年7月12日（土） 15:00～16:50

(2) 場 所 東京大学農学部3号館大会議室

(3) タイトル 我が国におけるGMO研究の現状と課題

(4) 内 容

話題提供

①「GMO作物の世界的な普及状況と日本における
研究開発の現状と課題」

石毛 光雄（(独)農業生物資源研究所理事長）

②「世界の不良土壌に対するストレス耐性GMOについて」

森 敏（NPO法人WINEP理事長）

質疑応答及び自由討議

司会：太田 猛彦（日本農学アカデミー学術情報委員長）

4 会報の発行

会報については、第9号及び第10号を作成し、ホームページに掲載した。

5 総会、理事会等の開催

(1) 理事会の開催

ア 日時 平成20年7月12日(土) 12:00~13:10

イ 場所 東京大学農学部3号館141室

ウ 議題 (ア) 第11回総会の議案案件について
(イ) その他

(2) 第11回総会の開催

ア 日時 平成20年7月12日(土) 13:30~14:40

イ 場所 東京大学農学部3号館大会議室

ウ 議題 (ア) 新会員の紹介について
(イ) 平成19年度事業報告(案)について
(ウ) 平成19年度収支決算(案)について
(エ) 平成20年度事業計画(案)について
(オ) 平成20年度予算(案)について
(カ) 第5期役員(理事、監事)の承認について
(キ) 第5期役員(会長、副会長)の承認について

6 ホームページの充実

情報を逐次更新するとともに、会報第9号、第10号に掲載するなど内容の充実を図った。(参考) 日本農学アカデミーURL <http://wwwsoc.nii.ac.jp/aaj>

第2号議案 平成20年度収支決算(案)について
(別紙①)

第3号議案 監査結果について

第4号議案 平成21年度事業計画(案)について

1 会員の拡大

2 会報第11号及び12号の作成

(会報第11号につきましては、6月9日にホームページに掲載しました。)

3 会員データベースの更新

4 会員名簿の作成

5 ミニシンポジウムの開催

(別紙③)

5 第11回シンポジウムの開催

(11月7日(土)に東京大学農学部弥生講堂において開催予定です。)

- 6 総会、理事会等の開催
- 7 ホームページの充実
- 8 農学諸問題に関する調査等を実施し、日本農学アカデミー声明、提言及び会長談話等の発出

第 5 号議案 平成 21 年度予算（案）について
（別紙②）

別紙

日本農学アカデミー 平成20年度収支決算書(案)

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 | 備 考 |
|-----------------|-----------|-----------|---------|-----------------------------------|
| 収 入 の 部 | | | | |
| 前年度からの繰越金 | 2,131,508 | 2,131,508 | 0 | |
| 会費収入 | 2,520,000 | 2,530,000 | 10,000 | 正会員分 2,430,000円 賛助会員分 100,000円 |
| 雑収入 | 0 | 6,130 | 6,130 | 懇親会参加費残額 |
| 預金利息 | 3,200 | 3,638 | 438 | |
| 収 入 合 計 (A) | 4,654,708 | 4,671,276 | 16,568 | |
| 支 出 の 部 | | | | |
| 会議費 | 178,000 | 145,235 | 32,765 | 総会、幹事会、シンポジウム等 |
| 諸謝金 | 200,000 | 55,000 | 145,000 | シンポジウム講師謝金等 |
| 通信運搬費 | 124,000 | 78,331 | 45,669 | 総会案内、シンポジウム案内等、切手・葉書 |
| 消耗品費 | 5,000 | 0 | 5,000 | 事務用消耗品 |
| 図書購入費 | 1,440,000 | 1,442,054 | 2,054 | 月刊「学術の動向」購入費 (@667*2,162) |
| 印刷製本費 | 633,000 | 51,450 | 581,550 | 封筒 |
| ホームページ管理費 | 200,000 | 200,000 | 0 | ホームページ更新料等 |
| 諸経費 | 180,000 | 180,000 | 0 | 電話料等事務管理費 |
| 振込手数料 | 26,000 | 25,580 | 420 | 会費払込料加入者負担等 |
| 予備費 | 100,000 | 0 | 100,000 | |
| 支 出 合 計 (B) | 3,086,000 | 2,205,850 | 880,150 | |
| 次年度への繰越金(A)-(B) | 1,568,708 | 2,465,426 | 896,718 | |

預貯金残高 ('09/3/31現在)

| 内 訳 | 金 額 |
|------------|-----------|
| 郵便貯金 | 88,164 |
| 三井住友銀行定期預金 | 1,000,000 |
| 三井住友銀行普通預金 | 1,377,262 |
| 計 | 2,465,426 |

別紙②

日本農学アカデミー 平成 21 年度予算 (案)
(平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日)

(単位：円)

| 科 目 | 予 算 額 | 備 考 |
|------------------|-----------|-------------------------------|
| I 収入の部 | | |
| 前年度からの繰越金 | 2,465,426 | |
| 会費収入 | 2,390,000 | 正会員 229 名、賛助会員 2 名 |
| 預貯金利息 | 3,600 | 20 年度実績 3,638 円 |
| 収入合計 (A) | 4,859,026 | |
| II 支出の部 | | |
| 会議費 | 178,000 | 総会、幹事会、シンポジウム等 |
| 諸謝金 | 150,000 | シンポジウム 講師等謝金等 |
| 通信運搬費 | 121,000 | 総会等案内、シンポジウム案内等、切手、 |
| 消耗品費 | 5,000 | 事務用消耗品 |
| 図書購入費 | 1,089,000 | 月刊学術の動向購入費 (@667*12月*136) |
| 印刷製本費 | 633,000 | 名簿 (300 部)、栞 (200 部)、ポスター、封筒等 |
| ホームページ管理費 | 200,000 | ホームページ更新料等 |
| 諸経費 | 180,000 | 電話料等事務管理費 |
| 振込手数料 | 25,000 | 会費払い込み料加入者負担等 |
| 予備費 | 100,000 | |
| 支出合計 (B) | 2,681,000 | |
| 次年度への繰越金 (A)-(B) | 2,178,026 | |

別紙③

ミニシンポジウムのご案内

学術情報委員会委員長 林 良博

日本農学アカデミーでは第12回総会に引き続き、下記のテーマでミニシンポジウムを開催いたします。総会と合わせて是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

テーマ：新公益法人制度における学協会のあり方を考える。

趣 旨：

平成20年12月1日に新公益法人法が施行され、従来、主務官庁から認可を受けて設立されていた社団法人・財団法人などが今後は法務局に登記申請をすることによって法人としての設立が可能となりました。ただし、税の優遇措置を受けられる公益法人は、内閣府公益法人認定等委員会の審査を受け、公益法人としての認可の可否が決定されることになりました。

このため、旧公益法人では、新公益法人としての認可を受けるため、その事業の内容を公益認定等ガイドラインに即したものとするための検討がなされております。

我が国の学協会では、学術集会や学術出版がその事業の主体となっておりますが、このうち、学術出版に関しては、公益事業として認められるかどうか不透明なところがあるため、多くの学協会では、新公益法人認定の申請を行うタイミングを図っている状況にあります。今回のミニシンポジウムにおいては、このような国内の学協会の対応状況や外国の学協会の状況について種々検討を行うこととしました。

日 時：2009年7月24日（金）15：00～17：00（第12回総会終了後）

場 所：東京大学農学部3号館4階大会議室

主 催：日本農学アカデミー学術情報委員会

プログラム

- 15：00—15：40 話題提供「国内の学協会の対応状況と課題」
會田 勝美（日本学術会議連携会員、(社)日本水産学会会長）
- 15：40—16：20 話題提供「海外の学協会の状況」
長澤 寛道（日本学術会議連携会員、(社)日本農芸化学会理事）
- 16：20—17：00 質疑応答および自由討議
司会：三輪 睿太郎（日本農学アカデミー副会長）

ご注意

本シンポジウムは、公開シンポジウムですが、日本農学アカデミー会員間での質疑応答・討議が中心となる“ミニシンポジウム”の形式で開催いたします。